

背景・課題

- 喫緊の課題に迅速に対応するため、オンライン研修コンテンツを開発・充実させる。
学校を取り巻く喫緊の課題に教員等が迅速に対応するためには、教員等が効率的かつ効果的に研修を受けることができる環境が必要。
そのため、多様な主体が有する知見を活かし、オンライン研修コンテンツを開発する取組を支援する。

事業内容

オンライン研修コンテンツ開発【28.8百万円】

○喫緊の課題に迅速に対応するためのオンライン研修コンテンツ開発

教員等に対応する研修コンテンツ開発 [<2.4百万円×18コンテンツ>×2/3=28.8百万円]

- ＜開発例＞
- ・学校における働き方改革を含む「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」（R5.8.28提言）を踏まえた具体的取組についてのコンテンツ開発
→ ①業務適正化の一層の推進、②学校における働き方改革の実効性向上
 - ・「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」(R5.7.4文科省)
を踏まえた具体的取組についての研修コンテンツ
 - ・「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」(R5.3.31文科省)
を踏まえた具体的取組についての研修コンテンツ
 - ・外国人児童生徒への対応に係る具体的取組についての研修コンテンツ
 - ・児童生徒性暴力等の防止に係る具体的取組についての研修コンテンツ

※補助率3分の2
※修了時に成果確認を行い、履修証明を与えるなど、学びの成果を可視化する取組を推進

アウトカム(成果目標)

- ・喫緊課題に対応するためのコンテンツの開発
- ・研修高度化の取組の進展

- ・喫緊課題に関する教師の資質向上の促進や、課題への迅速な対応
- ・研修観の転換・定着の進展